

学校関係者評価委員会 議事録

会議名：学校関係者評価委員会

日 時：令和7年8月5日（火） 14:00～15:30（予定）

会 場：専門学校デジタルアーツ仙台 2階 ITスタジオ

出席予定者：学校評価委員会、事務局

1. 学校関係者評価委員及び事務局について

（学校評価委員）

氏 名	所 属 等
委員長 渡邊 孝博	株式会社 オンサイト 代表取締役
副委員長 小野寺 千代志	株式会社 E A M 代表取締役
布川 博士	岩手県立大学ソフトウェア情報学部 教授
石川 智英	株式会社東北共立 執行役員
金塚 弘	株式会社メディアPR 代表取締役
武藤 政寿	公益社団法人 定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会理事長
播磨 亮達	株式会社BBグラフィクス 代表取締役
落合 泰朗	本町新光町内会 会長
川北 力斗	卒業生 (株式会社エドワードアンドカンパニー執行役員)

（事務局）

氏 名	所 属 等
菅原 淳	菅原学園法人本部 本部長
菅原 崇博	専門学校デジタルアーツ仙台 校長
井村 修	専門学校デジタルアーツ仙台 副校長
鈴木 理	専門学校デジタルアーツ仙台 学生課 課長
三浦 和音	専門学校デジタルアーツ仙台 イラスト・マンガアニメ科教諭（書記）
伊藤 広之	菅原学園法人本部 総務課 課長

2. 委員会次第

進行 : 渡邊様 (株式会社オンサイト)

・開会

校長 菅原崇博

(菅原) お暑い中お集まりいただきありがとうございます。今年度より新校舎が開校しましたので今後より一層活用していきたいと思っておりますので先生方のお力をお借りできますと幸いです。また、大学との連携も強めており、シニア講座の実施を行っております。また IT 情報系においても受託事業を実施しております。今後の学校のためにも本日は忌憚なきご意見をお聞かせいただければと思います。

・事務局 (デジタルアーツ仙台) 紹介

・学校関係者評価委員紹介

・職業実践専門課程に関する説明

副校長 井村

(井村) 簡単にご報告させていただきます。2014 年から実施している制度になります。文部科学省の認定を受けた学校であり、全国の専門学校 42%が認可を受けております。専門学校デジタルアーツ仙台については、ゲームクリエイター科と応用情報システム科については3年課程と変更となり、卒業生を出してから申請となるため、来年度以降手続きを進めてまいります。

・自己評価に関する討議、意見交換

議長 渡邊委員長

(1) 教育理念・目標

(渡邊) ほぼ適切という評価になっておりますが、こちらの評価についてはどのような取り組みをされておりますか？

(井村) 4月のオリエンテーションにおいて、我々の教育理念、HP等にも掲載をしております。また、その都度学生に対しても掲示物等で示しております。

(2) 学校運営

(渡邊) ほぼ適切ではありますが、hの項目のみ解説をお願いいたします。

(井村) 昨年度より、老朽化については対策を行っている最中で、システムの移行等を実施しております。来年度より、運用を予定しております。

(3) 教育活動

(渡邊) この項目については、m、n が評価を下げております。解説をお願いいたします。

(鈴木) 学科ごとに研修についてばらつきがあり、その点で評価を落としております。特に AI との使い方などについて教員向けの研修を進めていくことを検討しております。

(渡邊) 実際に先生方の研修等の実施はされているのでしょうか？

(鈴木) 年 2 回実施しております。

(4) 学習成果

(渡邊) C の項目について昨年度評価より上がっているが対策等はいかがでしょうか？

(鈴木) 除退学について、おとしは残念ながら 7%でしたが、昨年は 2.5%となり、全国的に見てもかなり少ない割合になりました。昨年度より、一人一人の学生に寄り添い、保健室登校や課題提出等で退学を減らしていくような取り組みを実施しております。

(5) 学生支援

(渡邊) 卒業生への対策等についてはいかがでしょうか？

(鈴木) 昨年度までは卒業生については待ちの姿勢が多かったが、今年度より卒業生、特に県内の就職先に訪問し企業との連携等を取るよう動いております。

(6) 教育環境

(渡邊) こちらの項目については評価がほぼ「3」という形になっておりますが、対策などがありますでしょうか？

(鈴木) 防災について、学校としてこれから稟議を発議する予定ではありますが、防災グッズの購入し学生が避難できる環境を整えるようを検討している。

(渡邊) こちらはこの購入等を行うことで、評価が適切に上がるという認識で間違いありませんでしょうか？

(井村) 防災等については町内会との連携も図りながら対策をしていきます。また新校舎ができましたので、こちらの校舎については設備等はしっかりしておりますので、来年度については評価が上がると認識しております。

(渡邊) 地域の方などはいかがでしょう？

（井村）我々としてはまず、学生を第一に考え地域の方々がどれほど避難してくるかという部分が読めないため、その点も含め検討をしている。

（渡邊）基準を決める等をしてみるのはいかがでしょうか？

（井村）学生に関してもどこまで範囲を広げるかを検討・想定しながら町内会とも協力していきたい

（７）学生の受け入れ募集

（鈴木）各科ごとに定員の充足を目標としております。特に OC については力を入れております。OC からの出願率を 40%を目標にしております。新校舎については参加人数も含め増加しておりますが、本館の学科も併せてさらに取り組みを強化しております。

（渡邊）参加者の

（鈴木）多数の学校へ来校するように、高校からの指導もあり参加人数は増えており、さらに保護者同伴での来校も増えている。

（８）財務

（本部長）中長期的には安定しております。

また収支計画等についても HP に掲載しております。

外部監査等も利用し、適正に運用されております。

前期（令和 6 年度）については赤字でしたが、今年度・来年度に向けて黒字に向け体制を整えております。

（渡邊）赤字というのは新校舎の建設も関係しているのでしょうか？

（本部長）支出が増えてしまったという部分が大きいですが、対策をしております。

（９）法令等の遵守

（本部長）こちらに関しても問題なく順守をしております。

（１０）社会貢献・地域貢献

（井村）高校生の発表の場という形で場所の提供等を行っている。またジャズフェス等に学生ボランティアの派遣等を行っております。

地域への公開講座等はシニア講座として実施、宮城県からの受託事業、県警の研修等、引き続き取り組んでいきたい。

（金塚）シニア講座というのは具体的にどのようなものを実施しておりますか？

(井村) スマホ講座やデッサン講座等を実施しております。フラワーの講座が人気があり、スマホカメラの講座や朗読講座等を実施しております。

(金塚) 告知等はどのように実施していますか？

(井村) チラシを制作して、仙台市から配布していただいたりであるとか、昨年は河北ウィークリーや新聞を使っての広報をしております。CAT - V にも協力していただいて実施をしています。

(金塚) 講師についてはどなたが実施しておりますか？講座は単発で？

(井村) 本校の教員や非常勤講師にお願いしております。単発の講座で実施しております。

(校長) 学生と話をしながらできるというのがひとつ魅力として感じておられるシニアの方が多い印象です。

(渡邊) 評価については以上になりますが、追加で気になる点等ありますでしょうか？

(布川) 教員の研修については、各学科ごとの分野の研修になるのか組織的な研修が多いのでしょうか？

(鈴木) 割合としては各学科ごとの研修が多いですが、最近は学生ケアについての研修も増えているので、そちらに参加しております。

(井村) 学生指導については難しい場面が増えているのでその点の研修を増やしております。

(布川) また受託事業について、学生たちにもいい影響が出ているように思います。どの年齢になっても学ぶ姿勢を見るというのはとても良い影響が出ていると思います。

(川北) 学習成果の部分についてですが、HP のリニューアルという点があるんですが、卒業生の皆様へという項目だけ事務的な手続きのみが掲載されているので、卒業生や保護者に向けてポジティブな印象を与えられるような表現を試みるのもいいとおもいました。

(井村) 卒業生については今後もケアを進めていきたいと検討しております。

(渡邊) 学校の先生から企業の方へご質問等がありますでしょうか？

(井村) 企業から人材確保が難しいという点を聞いておりますが、その点いかがでしょうか？

(川北) 自分の企業についての話になりますが、人材確保というよりは、入社してからのミスマッチが増えているような感覚があります。入社してからの教育などが課題だと感じております。

(石川) 人材確保は確かに難しくなっていくと感じています。外国人の方をどう使っていくかということをしっかり考えていかなくはならない時期だと感じています。受け入れたとして会社としてどういう活躍の場を用意していくかを検討しています。長く働ける環境を整える必要もあると感じています。

(渡邊) お二人とも入社後のミスマッチというお話でしたが井村先生のからは募集をどうしているかという点かとおものですが

(井村) 教員に関してもですが、いい人材をどう確保するかという部分がうまくいかない

ので、その点を企業ではどうしているのかというお知恵を貸していただければと思うのですが…

（渡邊）リクルートサイト等の利用はないのでしょうか？

（井村）どうしてもマッチングするような人材がなく…難しく感じております。

（川北）うちもあまり予算をかけたくないので…リクルートサイトの利用をしていますがあまりマッチングする人材が集まらなかった印象があります。

（渡邊）採用に関しての HP 等を充実させるのもひとつの手段かと思います。

（井村）もう 1 点よろしいでしょうか？本校が通信制の高校生への働きかけが多くなっており、コミュニケーション等が苦手な学生を入学することも増えているのですが、企業にそういった人材はいるのでしょうか？突然来なくなったりなど…企業ではそういった方はそもそも採用しないのでしょうか？

（川北）いつの時代もそういった方はいるのではないのかな…と思うのですが…

（井村）そういったケースが増えてきたもので、参考にしたいなと思ったのですが…やはり採用されない場合が多いのでしょうかね。

（渡邊）ほかに意見のある方はいらっしゃるのでしょうか？

ではこれにて終了したいと思います。

・ 閉会

本部長 菅原淳

（本部長）本日いただいた意見を参考にますます学校運営をしていきたいと思いたすので、引き続きご協力いただけますと幸いです。

3. 配布資料

- ・ 自己評価表
- ・ 入学パンフレット
- ・ 募集要項
- ・ 学生生活マニュアル